

様式 2

## 令和元年度 学術振興基金助成による成果報告書

令和元年 8 月 7 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学研究科・  
M1

申 請 者 名 大 関 拓 海

助成事業の区分	いずれかにチェックしてください 研究協力に関する事業 ( <input checked="" type="checkbox"/> 学会参加) 学術振興に関する事業 ( <input checked="" type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 事務職員)
事業名	環境放射能除染学会 (国内)
事業実施期間	令和元年 7 月 10 日～ 令和元年 7 月 11 日
成果の概要	<p>福島県郡山市のけんしん郡山文化センター (郡山市民文化センター) で開催された環境放射能除染学会 第 8 回研究発表会に参加し, 以下の内容でポスター発表した。</p> <p>発表日時: 令和元年 7 月 10 日 11:15~12:15 発表セッション: ポスターセッション 1 除染技術, 除染事例 発表番号: P1-02 発表タイトル: 水中放射性 Cs 除去のためのフェロシアン化ニッケル担持スギ炭素化物の作製 発表者: ○大関拓海, 浅田隆志</p> <p>プログラムについては第 8 回研究発表会のホームページに公開されている。 <a href="http://khjosen.org/event/conference/8th_Con/program_08/poster_program_08.pdf">http://khjosen.org/event/conference/8th_Con/program_08/poster_program_08.pdf</a></p>